

取り扱い説明書

5 1 1 4 7 ①/②

*取り付け前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。

*この取り扱い説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管して下さい。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車輛を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取り扱い説明書も併せてお渡し下さい。

レガシスポーツシフト用 逆チェンジキット	適応車種	商品 NO.
	レガシ GT-B, B4 (BH5, BE5) インプレッサ (GDA, GGA) フォレスター (SG5) スポーツ付き AT 車 専用	5 1 1 4 7

この度は「レガシスポーツシフト用逆チェンジキット」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。御使用前には必ずこの取り扱い説明書をよくお読み下さい。また、取り付け前に必ず商品の内容をお確かめ下さい。なお、万一お気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店に御相談下さい。

〈特徴〉

- スポーツシフト AT 搭載車でシフトレバー操作のアップ、ダウンを逆向きに変更し、レーシングカーの様なシフトパターンにします。
- カプラーオン無加工の簡単取り付け。
- UVコートで質感の高いシフトパターンステッカーを2種類用意。お好みのパターンでお使い頂けます。(UP、DOWN、+、-)
- シフトパターン変更警告ステッカー付きで他の方が運転する際も安心。

〈商品内容〉

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	逆チェンジ変換ハーネス		1	③	シフトステッカーUP, DOWN		1
②	シフトステッカー+、-		1				

〔使用上の注意事項〕

* 間違った取り付けや不注意な行為は重大な事故につながります。充分御注意下さい。

⚠注意

- ・ この商品は、記載されている適応車輛以外の車輛には使用できません。
- ・ 無理な運転は絶対にしないで下さい。常にドライビングマナーを守り、安全運転に心掛けて下さい。
- ・ 装着の際、パネル等脱着時、樹脂部品の破損には充分ご注意願います。取り付け時の部品破損等については当社では一切責任を負えませんので、自信の無い方はカーディーラー等へお問い合わせされる事をお勧めします。また破損等により充分固定されない場合、危険ですのでそのまま乗るようなことのないよう願います。
- ・ ボルトやナットが緩みにくいことがあります。無理に緩めようとするとうボルトが折れたり、ナットをなめることがありますので、潤滑油等を使い適正な工具で無理のないよう作業して下さい。
- ・ 特に手の怪我を防ぐために手袋などを使い、作業して下さい。
- ・ 配線カプラーの取り外しには脱着用ツメを抑えるなどして無理に引っ張らない様注意して下さい。断線等により走行不能になる場合があります。
- ・ 配線等がパネルやネジに挟まれたりしないようご注意下さい。ショートにより車両故障の恐れがあります。
- ・ この商品は、予告なしに仕様や価格の変更をすることがあります。予めご了承下さい

〔取り付け時の警告及び注意事項〕

- ・ 専門外の方が作業をすることは、大変危険ですから絶対にしないで下さい。専門の整備士の方でも、サービスマニュアル(整備書)を充分理解した上で、慎重に作業を行って下さい。

要 点

- ・ 作業には、平らな安全な場所でサイドブレーキを掛け必要に応じ輪留めなどを行って下さい。また、安全の為バッテリーのマイナス端子を外し作業するようにして下さい。尚、バッテリー端子を外す事で時計、オーディオ関係メモリーがリセットされるので再度設定が必要となります。
- ・ 手の怪我を防ぐために手袋などを使い、作業して下さい

⚠警告

- ・ 間違った取り付けや不注意な行為は重大な事故につながります。充分ご注意下さい。
- ・ スポーツシフト方向が標準車と反対になりますので、馴れるまでは慎重な運転を心がけ、充分にご注意下さい。

■ 取り付け手順 ■

(手順はBE5レガシィを基準に説明しています。インプレッサ、フォレスターについては、若干パネル脱着の手順が異なりますので、カーディーラーなどで確認の上、作業して下さい。)

1. 車両を安全な場所に止め、サイドブレーキを掛け必要に応じて輪留め等の処置を行いバッテリーのマイナス端子を外します。
2. 作業を行いやすくするためにシフトレバーをシフトロックボタンを押してニュートラル位置にします。
3. シフトパネルを外します。パネルは4ヶ所のクリップと2箇所のボスで固定されています。(図1) シフトパネルとシフトゲージの隙間に指を引っ掛け上に引き上げる様に外します。この時、一気に力を入れるとボスの部分を割ってしまいますので、少しずつ外していくようなイメージで作業して下さい。クリップが4ヶ所外れたところで運転席に座り灰皿の横の部分(ボスの埋め込まれている部分)を手前に引きながら外します。(図2) この時、ボスを破損し易いため慎重な作業をして下さい。
万一、ボスが割れてしまっても当社では一切責任は負いかねます。また、クリップも外れて下に落ちやすいため要注意です。

図1

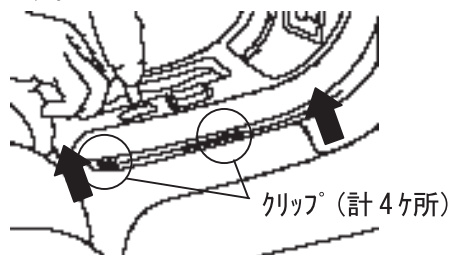


図2



*無理な角度で引っ張るとボスの部分が割れてしまいます。非常に割れやすい部分なので慎重に作業して下さい。

4. シフトモードのハーネスがパネルに接続されていますので白色カプラーのツメを押さえて外して下さい。(図3)
5. ネジを弛めて、シフトレバー前側にある小物入れを外します。(図4)

図3

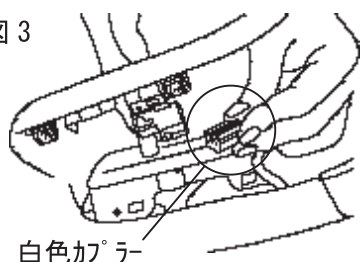


図4

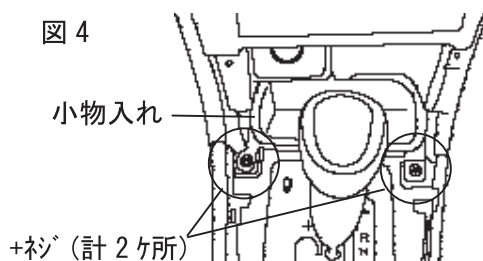
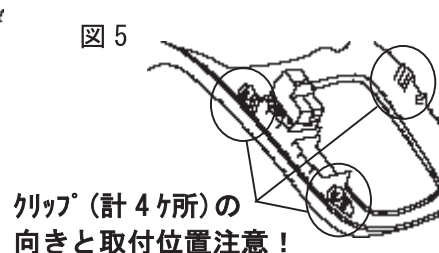


図5



6. 小物入れ下にあるカプラーのうち手前の**黒色カプラー**(シフトレバー側に配線が入っている方)を外し、逆チェンジ変換ハーネスを割り込ませます。(図6、7)間違えて**白いカプラー**に配線しない様、**ご注意下さい。白いカプラーに配線するとシフト操作が出来ないばかりか、ヒューズ破損などのトラブルが発生します。**
7. ケーブルを挟む事がないよう注意しながら、カプラーを元の位置にはめ込み小物入れを元のように取り付けます。この時、小物入れ奥側のツメ(図8)がコンソール側にはまるように注意して下さい。更に最初に外したシフトパネルをはめ込みます。もし、クリップが外れてしまった際は広がっている方を外側にしてシフトパネルにはめ込んだ後、シフトゲージ部へはめ込みます。(図5)

図6

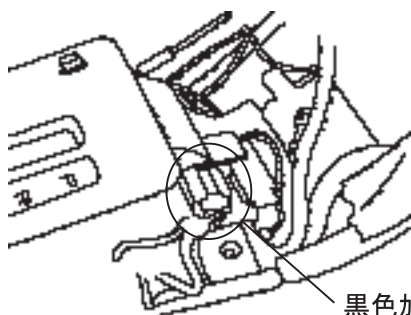


図7

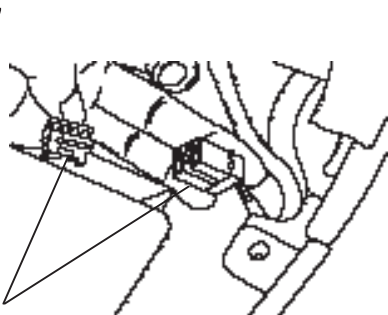
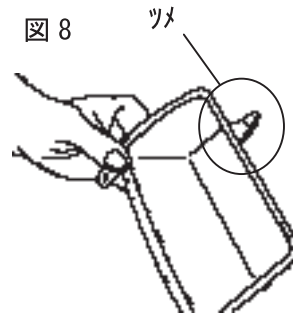


図8



8. 最後にお好みのシフトステッカーをシフトゲージ上のシフトパターンの上に貼り、警告ステッカーを任意の場所に貼りつけ、バッテリー端子を組みつけ作業は完了です。走行前に再度組み間違いがないか確認して下さい。

⚠注意 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所の点検を行って下さい。

- ・ 取り付けは確実に行って下さい。

 **プロト** 〒448-0001 愛知県刈谷市井ヶ谷町桜島5

◎ディーキャット商品についてのご質問、ご意見は、0566-36-0456までお願い致します。